

東京地評ホームページ
QRコードでアクセスE-mail lapaz@chihyo.jp
URL http://www.chihyo.jp

TOKYO

はたらく仲間

225

2022年1月15日
(毎月15日発行)発行 東京地方労働組合
評議会(東京地評)

定価 1部40円(送料別)

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館

TEL 03(5395)3171

FAX 03(5395)3240

2022年 さあ一緒に 8時間働けば暮らしていける
公正で公平な社会を 青年たちと

オンライン併用で交流した都教組の仲間たち

【江東区労連・事務局次長・松井優希記】江東区労連青年部は2021年7月に結成20年を迎えました。

江東区労連青年部は結成当初から学習や交流を重視し2007年(結成6年目)からは運動を加え、パートアルバイト賃金調査を行っています。

この目的は、区内の店舗に掲示されているパートアルバイトの求人募集が最低賃金額の改定を適正に反映しているか、改定前に比べ区内平均時給が

どのような水準になっているのか、合わせて応募



行政機関に要請する江東区労連青年部の仲間たち

江東区労連
青年部

行政機関に存在感

賃金調査で要請重ね

【都教組発】新型コロナウイルス感染症の影響で、当たり前前にできていた教育活動が制限され、子どもたちも大人以上に大きな不安やストレスを抱えています。しかし学校では、ICT端末の普及で、校内の環境整備や研修等で、教職員の長時間過密労働がコロナ禍以前よりも深刻になり、子どもたちと向きあう時間

都教組
子らが輝く授業を
実践で学び共有し元気に

都教組

子らが輝く授業を
実践で学び共有し元気に

「毎日出勤し、業務していたのに物のように使われて捨てるのは許せない」と訴えています。

夫しています。そして、自分や家族を大切にできる労働環境改善を求め、

年部リーフレット「We are 都教組青年部」を配布、組合を少し

でも身近に感じてもらえる取り組みを話し合っています。この秋は、オンラインを使い全国の教職員と繋がり、各地の美味しい名産品を食べながら東京の教職員ならではの悩みを直接交流できる会を実施。学校ではなかなか弱音を吐けない青年が、ここにきて自分の現状や思いを吐き出し、仲間と元気をもらいます。

都教組

子らが輝く授業を
実践で学び共有し元気に

【都教組発】新型コロナウイルス感染症の影響で、当たり前前にできていた教育活動が制限され、子どもたちも大人以上に大きな不安やストレスを抱えています。しかし学校では、ICT端末の普及で、校内の環境整備や研修等で、教職員の長時間過密労働がコロナ禍以前よりも深刻になり、子どもたちと向きあう時間

場の可能性を模索し、子どもがいきいきと輝く様々な授業実践を学び、職場には新採者向け青

東京地評の仲間とともに取り組んでいます。職場には新採者向け青

でも身近に感じてもらえる取り組みを話し合っています。この秋は、オンラインを使い全国の教職員と繋がり、各地の美味しい名産品を食べながら東京の教職員ならではの悩みを直接交流できる会を実施。学校ではなかなか弱音を吐けない青年が、ここにきて自分の現状や思いを吐き出し、仲間と元気をもらいます。

都教組青年部は、「青年がつながり合い、安心して働ける職場環境づくり」をスローガンに、青年同士が繋がり支え合うコンテンツの充実や、青年が必要とする学習権利の保障・学習環境の整備、ハラスメントなくし平等で民主的な学校運営をめざし、教育現場でたくさん仲間と想いを共有し、運動をしていきます。

条件に労働基準法違反や他の法令違反がないかを確かめることです。調査後は、その結果をもとに亀戸労働基準監督署やハローワーク木場、東京都労働相談情報センター亀戸などのような水準になっているのか、合わせて応募

東京土建

300人の仲間を救う
仕事聞きとり相談と申請

【東京土建・青年部長・五本木宏晃記】青年部アンケート「現場の実態」と「仲間の状況」の特徴は、①賃金は、一日の平均で1万2553円と決して高くない②仕事や生活の意見・要望・心配ごとでは、賃金・単価が低い31.3%、休みがほしい25.4%、結婚したい21.5%など。

仕事・暮らしの影響は、コロナ禍で「仕事がなくなくなった」、人手不足から「逆に忙しい」、建設資材の滞りで「給湯器などの納品が遅れ工事がすずまない」などの声です。労働組合の役割は、①賃金引き上げ②労働条件の改善③産業民主化④要求実現のため団結し組織拡大をすすめることです。

【仲間を救った経験】は300件を超える仕事の状況の聞きとり、相談と申請をすすめる、持続化給付金等の制度学習会や仕事のマッチング。各支部の創意工夫の経験」でも青年部会では活動の生命線と継続、グループLINEやSNSも活用、PCR検査キット配布・フードバンク参加などです。建設だけの要求だけでなく、医療体制充実や最賃1500円実現など共闘団体や地域に根差した運動をすすめる決意です。



いっそう繋がりを強めた (写真は多摩西部支部青年部の仲間たち)

から。「毎日出勤し、業務していたのに物のように使われて捨てるのは許せない」と訴えています。

22年江東区労連青年部は、人間らしく生活できる賃金の確立と全ての青年労働者が未来に希望を持てるよう学習等を重視し実現を目指します。

仕事・暮らしの影響は、コロナ禍で「仕事がなくなくなった」、人手不足から「逆に忙しい」、建設資材の滞りで「給湯器などの納品が遅れ工事がすずまない」などの声です。労働組合の役割は、①賃金引き上げ②労働条件の改善③産業民主化④要求実現のため団結し組織拡大をすすめることです。

【仲間を救った経験】は300件を超える仕事の状況の聞きとり、相談と申請をすすめる、持続化給付金等の制度学習会や仕事のマッチング。各支部の創意工夫の経験」でも青年部会では活動の生命線と継続、グループLINEやSNSも活用、PCR検査キット配布・フードバンク参加などです。建設だけの要求だけでなく、医療体制充実や最賃1500円実現など共闘団体や地域に根差した運動をすすめる決意です。

が、青年部活性化に重要なのは「沢山遊び、そして学ぶ」ことが仲間の結集・定着・活動家育成の要です。コロナ感染拡大が猛威を振るう2020年当初、これまでの活動(飲食やイベント)が制限される中だからこそ、組合の原点に引き合い「仲間を救った」、そして「創意工夫」の経験が生まりました。